

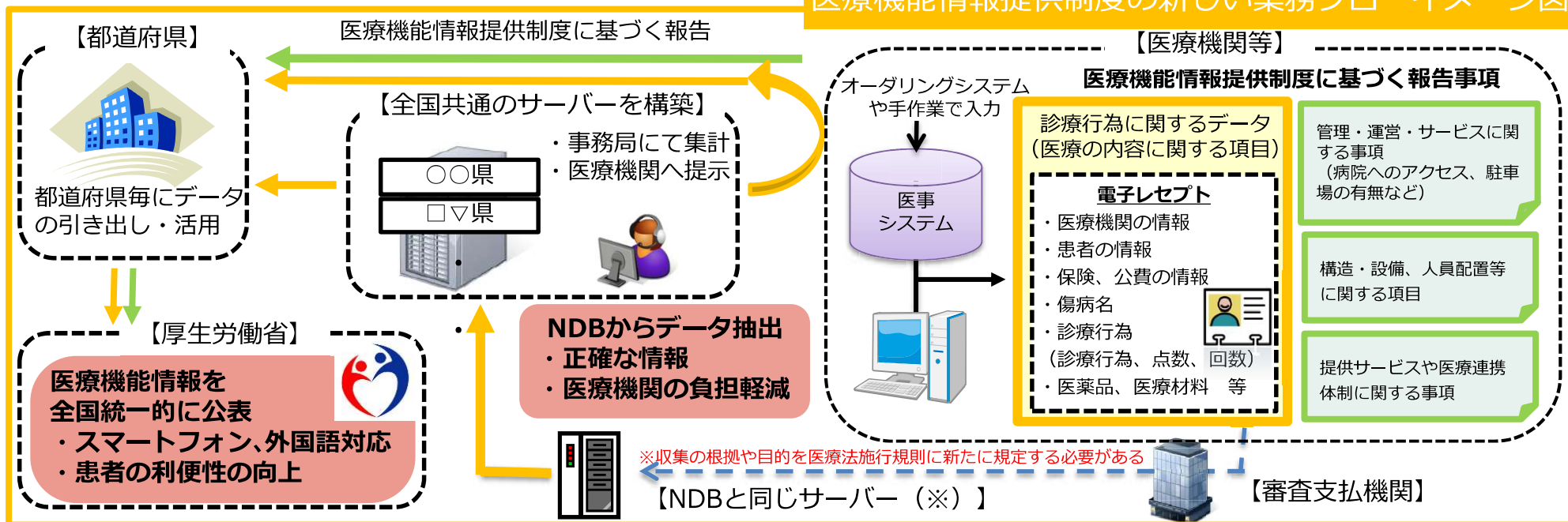
## 現状の課題

- 医療機能情報提供制度は、都道府県ごとに閲覧システムを公開
  - ・ スマートフォンや外国語対応等を含め、公表方法に差がある。
  - ・ 県境の患者は複数の都道府県の検索サイトの閲覧が必要。
- 規制改革実施計画で、医療機関の負担軽減が求められている。
- 都道府県毎に運用状況が異なるため、公表されている情報の粒度や内容の正確性に差があるとの懸念もある。

## 対応案

- 厚生労働省が管理する全国統一的な検索サイトを構築し、利便性を向上。
- レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）からデータを抽出し、医療機関が利用できる仕組みを付加することで、医療機関からの報告に係る負担軽減につなげるとともに、正確性を担保する。

## 医療機能情報提供制度の新しい業務フローイメージ図



システムの基盤構築に向けた工程表 (予定)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
調査研究 (都道府県関係)	プロジェクト管理 (統計調査、レセプトデータ集計の運用等)													
	仕様書作成・調達手続		システム構築 (関係者向け機能)				システム構築 (住民・患者向け機能)				運用・保守			
	都道府県対応支援		データ移行・運用テスト				データ移行・並行運用							